

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区

大東ロータリークラブ

■ 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL: 072-875-1200
FAX: 072-875-0590
E-mail: office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/

■ 例会
毎週火曜日 12時30分～1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL: 072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

- Reach Within to Embrace Humanity -

創立 1967年12月26日

■ 会長 大西 寛治
■ 幹事 上田 正義
■ 会報委員長 北本 良弘

2011年～2012年度
国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー

平成23年11月1日

No. 2135

H23. 10. 25 (No. 2134の例会記録)

今週の卓話 (11月1日)

「ロータリー財団月間に因んで」

松原 清一 ロータリー財団委員長

次週の予定 (11月8日)

「夜間例会」

橋本 正幸 社会奉仕委員長

先週の例会報告

◆ 出席報告 (10月25日分)

会員数 46名 出席数 28名 欠席者 9名
特定免除 9名 その他免除 0名
出席率 75.68%

前々回10月11日分

ホームクラブの出席者 35名 89.74%
メイクアップの結果 39名
特定免除 7名 その他免除 0名
欠席者 0名 修正出席率 100.00%

ゲスト

第2660地区 ガバナー 岡部 泰鑑 氏

ロータリーソング

「君が代」 「奉仕の理想」

ニコニコ箱

・皆様に温かく迎えていただいて 感謝 合掌

第2660地区 ガバナー 岡部 泰鑑 氏

・秋の家族会欠席お詫び 松原 清一 君



皆様こんにちは。本日は国際ロータリー第2660地区ガバナー 岡部 泰鑑様をお迎えしての3ロータリークラブ合同例会です。ホストクラブとして、会長の時間をいただきましたのでご挨拶をさせていただきます。

テーブルを3クラブ混同で用意いたしましたので、例会は1時間ですがこの機会に交流を深めていただければと思っております。

今年、戦後最悪といわれている大震災と原発事故から7ヶ月余りが経過しました。大震災からの復興や原発問題にどう対応するか、今、日本の大きな課題となっており、3月11日を契機に私たちの生き方に対する意識の変化が起きていると言われております。

NHKの『あさいち』という番組で“震災で変わった女の生き方、”という特集が放映されました。“変わる結婚観、・・・被災地から遠く離れた大阪でも震災後に結婚相談所に入会希望する人が殺到。

○被災地の方々の相手の身を第一に考えて行動する姿を見て、守られるだけではなく守れるようになりたいと思った。(30歳 女性)

○ご近所付き合いの大切さ。それまでなんとなく避けてきた近所付き合いのイメージが震災で一変した。(40代 女性)

○子供の安全を守るのには住民同士の助け合いが大切。自治会での活動・ボランティア活動への参加など

そこに共通しているのは「人と人との絆を大切にしたい」暖かい社会的連帯を求めの変化が生まれているのではないのでしょうか。この震災が私たちの中に大きな教訓を起こしていると思います。

又、被災地は寒い冬に向かっていく訳ですが、仮設住宅はとても寒く朝方5時頃には眠れない程で、70代のご老人は7枚も衣類を重ね着しているとのことでした。東日本大震災を風化させることなく支援していきたいと思っております。

先般、地区から「ガバナー会への寄付金について」のご案内がありました。その経過報告と現況を岡部ガバナー様よりお話いただければと思っております。

又、先日三村ガバナー補佐様から大東ロータリークラブが3名の新しい会員を迎えられたとお聞きしました。大東中央ロータリークラブとしては大変刺激を受けまして、会員増強2名を今年度目標として頑張ろうと思っております。

四條畷ロータリークラブの皆様は1月28日(土)、IM担当クラブとして大会成功に向けて奮闘されていることと思います。何かお手伝いできることがあればお申し付けください。皆で力を合わせて成功させましょう。





◎ガバナー補佐エレクト会議

樋口 秀和 会員

第4回ガバナー補佐エレクト研修報告（2011.10.20）

「ロータリー財団について」

1. ロータリー財団の氏名は、ロータリアンが健康状態を改善し教育への支援を高め貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。
2. 1917年R I会長は「世界でよいことをするために」基金の設置を提案し、1928年5,000米ドルまで成長した基金を「ロータリー財団」と名付けられ、国際ロータリーから独立した別の機関となりました。
3. 現在の財団管理委員は、委員長は歴代R I会長、15名の委員で財団の全資産の維持、投資、管理運営をしている。
4. ロータリアンの寄付
 - a. 年次寄付：3年前の年次寄付の50% DDF
50%がWFとして全てロータリー財団のプログラムのために利用される。
 - b. 恒久基金：元金は使わず投資利益のみが財団プログラムに利用される。
ベネファクター 1,000ドル以上寄付
 - c. 使途指定寄付：現在は、ポリオプラスとロータリー東日本震災復興基金
 - d. ポール・ハリスフェロー：ロータリー財団に合計で、1,000ドル以上寄付した人
5. 地区ロータリー財団委員会は、4委員会構成されている。
 - a. 財団情報・増進委員会
 - b. 財団奨学金学友委員会
 - c. 財団人道的補助金委員会
 - d. 研究グループ交換委員会
6. ロータリー財団は「未来の夢計画」と称する新補助金構想をR I理事会に提案承認され、2013年7月1日より全世界の全ての地区において実施されます。





「ガバナー公式訪問」

国際ロータリー第2660地区 ガバナー 岡部 泰鑑

本日は、1967年12月創立より44年経過の大東RCを訪問させていただきました。早い時間より大西会長・役員の方々に温かく迎えられ、また地区におきましては、中野インターアクト委員会副委員長には大変お世話になりこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。



さて、7月より公式訪問がスタートしまして3ヶ月が過ぎましたが、今日で43回目の卓話です。今年度のR Iテーマを始め、地区の活動方針を理解していただくために精一杯、熱意を込めて私なりに話させていただきます。

A. では、2011～12年度のR Iテーマについてご説明いたします。

『Reach Within to Embrace Humanity』

“こころの中を見つめよう 博愛を広げるために”

私の年度のR I会長は、インドのカリヤン・バネジー氏です。日本語訳ではカルヤン・バネルジーとなっていますが、私は米国の国際協議会でも確かめましたし、R I理事 近藤PGにも確認しましたところ、カリヤン・バネジーでいいと言われました。彼が日本にやって来た時に間違った名前



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

ですと失礼にあたりますので、私はカリヤン・バネジーと言わせていただきます。彼はインド出身の会長でありますので、私は宗教的意味合いを強く感じています。

(イ) カリヤン・バネジーR I会長は3つの強調事項を訴えておられます。

1. 家族 2. 継続 3. 変化

1. 家族とは、万事は家族から始まります。私達が行う奉仕の出発点は家族にあり、ここから始めてこそ人々の生活や地域社会全体を通じて、世界をより良くしていくことが出来ると言います。

2. 継続

得意とすることは何かを知って、継続しながら次のレベルへ高めていくことの大切





さ。宗教的に言わせていただければ、日々の善行です。善根の種まきをすること。ロータリーが行っているあらゆる奉仕活動の継続こそが大切です。

3. 変化

世界に望んでいる変化に、まず私達自身が変化の担い手とならなければならない。自分の中に変化を起こすことの必要性を認識しなくてはならない。自己分析、自己批判、自己観察、自分を見つめることにより高潔性の発見と博愛精神の向上、そして実践があります。

(ロ) R I の長期計画

1. クラブのサポートと強化

- ・さまざまな奉仕活動に参加するように奨励する
- ・ダイナミックな新クラブを結成する

2. 人道的奉仕の重点化と増加

- ・ポリオを撲滅する
- ・新世代奉仕プログラムにおける奉仕の継続性を高める
- ・ロータリー財団の6つの重点分野

3. 公共イメージと認知度の向上

- ・イメージとブランド認知を調和させる
- ・職業奉仕を強調する

B. 地区の方針

私の年度は『見直しをすすめ 新たな第一歩を』とさせていただきます。

松本直前ガバナーの『ロータリーについても一度考えてみませんか』をより深めてみました。

(イ) 地区の強調事項

1. クラブのサポートと強化

- ・リーダーを育成する。例会出席の重要性。ロータリアンライフ。
- ・ダイナミックな新クラブの結成
- ・単なる純増ではなくて、新クラブ結成へ

2. 人道的奉仕の重点化と増加

- ・ポリオ撲滅…R I 会長は本年度でエンドポリオを謳っていますので、今年は各クラブに対して、目標としては、お一人当たり 3,000 円程度の寄付をお願いしたいと思っています。

3. 公共イメージと認知度の向上

- ・ロータリーの認知度の向上

4. 未来の夢計画 (Future Vision Plan)

- ・2013 年より財団の仕組みが変わります。手続きが簡素化される。奉仕の機会を広げる等。





C. ロータリー財団と米山への寄付（目標）

あくまでも目標でありますこととお断りしておきます。

- ・ポリオ撲滅へお一人当たり 3,000 円
- ・R財団へ年次寄付として一人当たり 150US \$
- ・米山記念奨学会へ一人当たり 2 万円

以上がR Iおよび地区の活動方針です。

次に東日本震災復興支援プロジェクトについて

今回、東日本震災復興支援2660地区基金の運用等、東日本大震災復興支援を地区横断的に、より効果的に実施するため災害支援プロジェクトが設置されました。

<ご参考：災害支援プロジェクトの概要>

① 7月～9月の歩み

- ・東日本震災復興支援2660地区基金寄付金の募集、運用
- ・現地ニーズ掌握と各クラブ支援
- ・地区、各クラブの活動状況の掌握とサポート
- ・各クラブ、メンバーへの情報発信（ガバナー月信およびメール）

<寄付金の状況> 総額 87,619,582 円

<支援金の支払状況> プロジェクト9件 7,758,993 円 (2011年10月4日現在)

② プロジェクトメンバー

委員長：井上暎夫 パストガバナー（千里RC）

副委員長：高島凱夫 ガバナーエレクト（大阪中之島RC）

福家 宏 ガバナーノミニー・ロータリー財団委員長（八尾中央RC）

宮里唯子 地区研修委員（茨木西RC）

委員：溝畑正信 ロータリー財団副委員長（東大阪東RC）

五味千秋 財団人道的補助金委員（大阪心斎橋RC）

古澤照明 国際奉仕・WCS委員長（豊中RC）

川上大雄 社会奉仕委員長（大阪ユニバーサルシティRC）

丹羽健二 ガバナー補佐（大阪西南RC）

小林和由 ガバナー補佐エレクト（大阪咲洲RC）

発生後5ヶ月が経過した今も悲しみや絶望の中で、将来に向けて懸命に生きる数多くの人々がおられます。支援活動を進めるにあたっては、クラブ単独では資金面で苦しいので地区に支援を仰ぎたい、友好クラブから義援金を頂戴したが地区の支援のもとに複数クラブでプロジェクトを立ち上げたい、独自のプロジェクトより地区のプロジェクトに参加したい等々のご要望を各クラブより頂いております。是非とも皆様のお手伝いが出来ると思っております。

◎新クラブ結成の件

私は、PETS・地区協議会等で本年度は会員増強については純増何名ということ





は明言しませんが、これは会員増強を全くしなくても良いという訳ではありませんと申しておきました。現在のクラブでも又合併の際にも周年記念を機に例会時間の変更等を考えてもいいのではないかと申しております。有能な方、若い方達が入会したいと思っても例会時間の関係で入会しにくい、米国および東京等ではモーニング例会が活況を呈しているということを目にしました。今回大阪で初めてのモーニングクラブを立ち上げる準備が整いました。概要は以下の通りです。

1. 新クラブの名称

「大阪アーバン・ロータリークラブ」(仮称)

2. 例会場

ホテルグランヴィア大阪

3. 例会日時

毎週 水曜日 AM7:30～8:30

4. 会費等

入会金: 8万円

年会費: 10万円 (RI・地区人頭分担金。その他の義務的経費、及びホテル例会場費を含みます。)

但し上記のほか、食費は1例会につき各出席者が@1,500円を負担します。

5. 新クラブの基本的考え方

(1) 会員対象者

年齢・性別は問わず、事業経営・専門職・奉仕活動等に従事されている方々を原則として、幅広い世代の幅広い職業人に募集をかけてまいります。

元会員・元ロータアクターの方も歓迎します。

但し、運営上の必要から、少なくとも電子メールを使える方に限ります。

(2) 募集地域

大阪に通勤可能な地域全般

(3) クラブ運営の基本的考え方

各会員が負担する経費の削減を行い、幅広い会員が入会可能になるような低コストを目指します。

クラブ運営に伴う事務作業は、会長・幹事等の役員が分担して行うことを基本とし、クラブ事務局、及び事務局員は当分の間設置しません。

(4) 会員連絡手段

電子メールを基本とし、会員専用のHPを設けます。

さらにメーリングリストを活用します。

(5) 食事

ビュッフェ形式の朝食を基本とします。

6. 候補者の推薦

新クラブへの入会者をご紹介ください。

会員となるには、ロータリアンの推薦が必要です。

各クラブ会員の皆様より、お知り合いの方、事業所内の方など、候補者の推薦





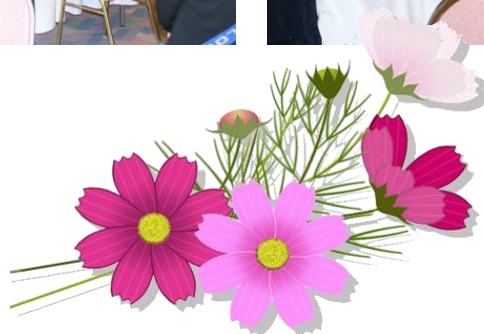
をよろしくお願い申し上げます。

※ なお、詳細については地区ホームページをご覧ください。

さて、私の年度でのポリオ終結について少しご説明いたします。何故ポリオが終結するのにポリオ寄付金の半分をポリオ広報活動費に回すのかと云うことです。

R Iからは『最終年度だからポリオの広報を広げてほしい、最終年度だから沢山の寄付をしてほしい』という方針を受けています。それを踏まえて、ロータリー広報活動とポリオ活動番組を製作いたしました。既に皆様はご覧いただいたと思いますが、“感染症ポリオ 残り1%の戦い”という題で7月18日にテレビ大阪から放映され、テレビが映らなかった地区のガバナーから「是非ともDVDを見せてほしい」という要望がありましたので、全国のガバナーに送付いたしました。何卒ポリオ広報活動についてもご理解を賜りたく存じます。

最後になりますが、本年は何かと地区活動にご協力を賜っておりますが、11月11日～12日の地区大会への多数の会員の出席、および東日本大震災のご寄付については個人でもクラブでも結構ですので、ご協力の程お願い申し上げます。





赤城山 : 標高 1828m

百名山 37/100

赤城山（あかぎさん、あかぎやま）は、関東地方の北部、群馬県のほぼ中央に位置し、太平洋プレートがオホーツクプレートに沈み込んでできた弧島型火山である。また、赤城山はカルデラ及びカルデラ湖を持つ関東地方で有数の複成火山である。

榛名山、妙義山と並び、上毛三山の一つに数えられている。また、日本百名山、日本百景の一つにも選ばれている。中央のカルデラの周囲を、円頂を持つ 1,200m から 1,800m の峰々が取り囲み、その外側は標高にして約 800m までは広く緩やかな裾野の高原台地をなしている。

中央部のカルデラ内には、カルデラ湖の大沼（おおぬま、おの）や覚満淵（かくまんぶち）、火口湖の小沼（こぬま、この）がある。

大沼の東岸、最高峰黒檜山の山麓に当たる場所に赤城神社があり、山麓各地に里宮があるほか、関東一円に末社が分布している。



両神山 : 標高 1723m

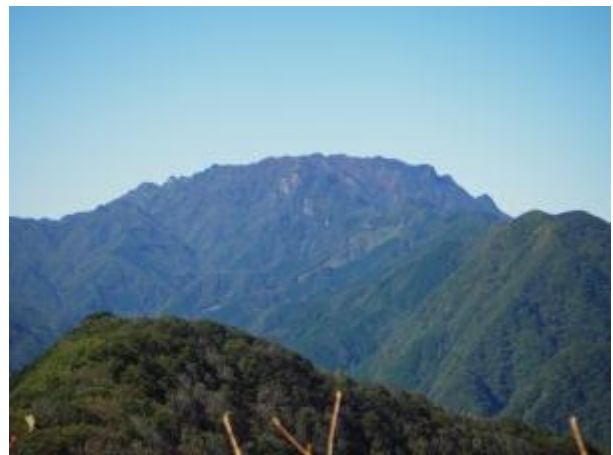
百名山 38/100

両神山（りょうかみさん）は埼玉県秩父郡小鹿野町と秩父市の境目にあり、秩父山地の北端にある山。標高 1,723m。日本百名山の一つ。

山名は、イザナギ、イザナミの神を祀っていることから両神と呼ぶという説、日本武尊の東征のおりこの山を八日間見ながら通過していったので八日見山と名づけられた説、「龍神を祭る山」が転じて両神山となったという説など、諸説ある。古くからの信仰の山。

東面の日向大谷からの道は表登山道とされ、数多くの石仏、石碑、丁目石が残されている。浦島からの登山道にも興味深い石仏が残されているが、今は廃道となっている。北麓の尾ノ内には龍頭神社があり、尾ノ内沢沿いに八丁尾根上の奥宮まで登拝路があるが、今では荒れていて危険である。山中、山麓の神社では、通常の狛犬の位置に山犬すなわち狼の石像が置かれている。狼を神の使いとする三峰神社の影響が窺われる。

地質学的には、両神山の多くの部分はチャート（ SiO_2 、水晶と同じ）という成分で形成されている。チャートは数億年前に海底に沈んだプランクトン（放散虫）の化石からできたもので、鉄よりも硬い（硬度 7）。





4月下旬から5月中旬、山頂一带にアカヤシオが咲く。自然林が多く残され、紅葉が美しいことでも知られている。

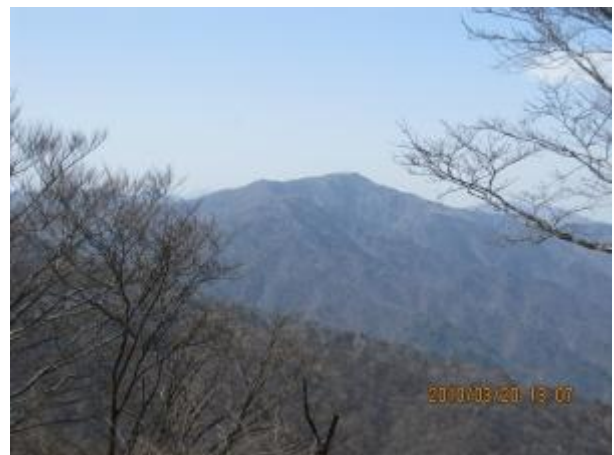
八丁峠から登るコースは鎖場の名所として有名。また、以前は旧両神村の白井差集落方面の登山道が山頂までの最短ルートであったが、行政（両神村・埼玉県や環境庁）と地権者との相続税に関する見解の相違からトラブルとなり2000年4月頃に地権者によってバリケードで封鎖された。その後、2000年10月に行政上は廃道となり、道標なども何者かにより破壊されている。現在では日向大谷からの道が主要な登山道となっている。



雲取山 : 標高 2017m

百名山 39/100

雲取山（くもとりやま）は東京都・埼玉県・山梨県の境界にある標高2,017mの山。奥多摩と奥秩父の二つの山域の境界に位置し、東京都の最高峰・最西端である。山頂には一等三角点がある。奥多摩山域の中では比較的人里から奥深くにある山である。妙法が岳、白岩山とともに三峰山の三山の一つである。日本百名山の一つに選ばれている。



丹沢山 : 標高 1567m

百名山 40/100

丹沢山（たんざわさん・たんざわやま）は丹沢山地の丹沢主脈にある標高1,567mの山。神奈川県相模原市緑区と愛甲郡清川村、足柄上郡山北町の境界に位置し、周辺の山々と共に丹沢大山国定公園に指定されている。山頂にはみやま山荘がある。

もともと、丹沢山とは丹沢中央部に連なる山々の総称であったが、明治時代の測量時に当山に三角点が設置され、その仮称として丹沢山と名付けられたのがそのまま現在へと

至り、一峰の山名となっている。しかし、深田久弥が日本百名山に選んだ丹沢山とはこの山塊中の一峰ではなく、丹沢中央部に連なる山々の総称であるとされている。

